

としょえもん

学校図書館サポートだより 第1号(通巻9号)

『 子どもの読書活動の充実を 』

八王子市教育センター 統括指導主事

山本 武

八王子市教育委員会が、学校図書館サポート事業を展開してから3年目を迎えています。これまで年度ごとに活用重点校を指定し、学校図書館を教育センターのスタッフが巡回訪問を行い、各校の学校図書館の充実を図り、読書活動の推進を支援してきました。その結果、学校図書館の環境整備が進み、学校と学校図書館のボランティアの方との共働により、子どもたちの読書活動が充実してきました。本年度も22校の重点校を指定し、市内公立小・中学校の学校図書館の活用がより推進されるよう日々取り組んでいます。

さて、子どもたちの読書の状況はどうでしょうか。ある調査では子どもの読書の時間と学力調査の結果は比例の関係にあるとのこと。つまり、読書量は学力にもつながることがあるようです。読書は豊かな心を養い、思考力や判断力を育むために非常に有益です。



子どもの頃からのその習慣をつけることは大切なことだと考えます。さらに、いろいろな読み方を身につけていくことも必要です。最近、情報化が進み、必要な情報だけを読む(取り出そう)とする傾向もあるようです。そのため、概要だけをつかめればよいということにもなりえます。文章の種類によっては、じっくりと言葉一つ一つにこだわって読み込んで、叙述をもとにイメージを膨らましたり、言葉の意味を確認したりして、語彙を獲得し、自分の表現に生かせる言葉の力を伸ばしていくことも大事だと思います。

平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が示され、4月23日が「子ども読書の日」に定められるなど、学校だけでなく地域でも子どもの読書活動を推進する機運が高まっています。日々の生活の中で読書の習慣を意識してみるのもよいのではないのでしょうか。

蔵書検索システムが稼働します!

昨年度実施したデータベース化作業がすべての学校で終了しました。図書室に設置したパソコンから以下のことができるようになります。

自校の蔵書が検索できるようになります。タイトル検索だけでなく『福祉』『俳句』というようなテーマでの検索もできます。

八王子市内の小中学校、市立図書館の所蔵する蔵書データも検索できます。



検索画面イメージ

平成24年度 研修会報告

第1回 司書教諭研修会 5月14日(月)

今回は、教育委員会指導課長からの学校図書館整備に関する説明と統括指導主事からの学校図書館を活用した授業の充実についての講義がありました。出席者は83名(出席率77%)でした。

まず、廣瀬指導課長より

学校図書館活用重点校を中心に進めている

図書館整備は、平成26年度まで継続する。

(24年度までに69校が終了予定)

平成23年度の省エネ努力で生みだされた予算で、図書購入の予算が追加配当される。

中学校区に新たにサポーターを派遣する。

昨年度のデータベース化をもとに、今年度中の検索システムの稼働に向けて調整している。貸出システムの導入は、検索システム稼働後の課題である。

などの説明がありました。

中央図書館学校支援
調べ学習セットの紹介



後半は、山本統括指導主事より、「学校図書館を活用した授業の充実」をテーマに、八王子市の学校図書館サポート事業の経緯・学校図書館の現状や今後にも触れながら、以下の内容の講義がありました。

- (1) 学校図書館法における学校図書館の定義や役割
- (2) コーディネーターとしての司書教諭の役割
- (3) 読書推進に関する法律について
- (4) 全国学力・学習状況調査と読書、学習指導要領の関係について

その後『読解力を付けるための学校図書館の活用』について「自校の学校図書館の特徴」「児童・生徒に付けたい力(読解力)」「学校図書館を活用した授業について」を視点到グループ討議を行い、先生方の情報交換もできました。

最後に山本統括指導主事より、よい実践については資料化し、共通の財産としていくこと、今日の内容を自校の学校図書館づくりに生かしてほしいとのまとめがありました。

第1回読書指導員・ボランティア研修会 6月6日(水)

『読み手も楽しむこどもの本』

あいにくの雨の中169名の方が参加

講義 絵本・児童文学をめぐって
広瀬恒子先生

講義 科学絵本もおはなし会に
代田みち子先生

はじめに、東日本の子どもたちに本を贈る運動の中でみえたことや、今回の学習指導要領改定による教科書の変化、2011年度の児童書の新刊が2882点に及ぶなどの話がありました。

ボランティアの皆さんは、日々の15分ほどの活動の中で、子どもたちと本との出会いの仲立ちをするとても意味のある活動を担っています。そんな子どもたちとボランティアさんにとって、よりよい読み聞かせに向く本として、導入・季節・民話・伝記・学年に応じた本・2011年を振り返って「生きる」ことを描いた作品と絵本を中心にたくさんの本を紹介していただきました。「読み手がその作品に共感すること。評価は子どもとの関わりの中ですること(自分の思い込みではだめ)。他の人との交流の中で視点や幅など自分を広げていくこと。」というお話が印象的でした。

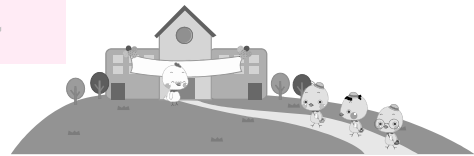
話の始めは金星の太陽面通過の話題、さらに先月の金環日食のこと、また数年前に出かけた上海行きチャーター船による皆既日食観察の旅へと及び、やがて私たちは好奇心の塊のような先生のエネルギーに引き込まれていきました。

数々の魅力的な科学の本の読み聞かせとブックトーク、参加者全員による詩の一斉読、科学遊びおもちゃや実物の展示物解説と、実に多彩な内容の講演会でした。本日の研修テーマは『読み手も楽しむこどもの本』、先生の「物を教えるために科学の本を読まないでくださいね」という言葉の含意を重ね合わせると、先生こそ科学の本を心から楽しんでいる達人なんだと得心しました。科学の本さながらに目からウロコの2時間でした。

代田先生が持参した「ダチョウの卵」等、本と一緒に実物も展示



学校図書館活用重点校紹介 ~ その1 ~



平成 24 年度重点校 22 校の図書館を順番にご紹介していきます。

<p>みなみ野中学校</p>			<p>左：図書委員会で『本のクリーニング・修理』講習を体験。本も気持ちもスッキリ。 右：ブックトラックに本を集めて、校内移動図書館の準備中。</p>
<p>石川中学校</p>			<p>左：調べ学習用図書をテーマごとにコンテナでセット。(江戸・下町、修学旅行等) 右：全校で取り組む『読書マラソンカード』</p>
<p>松が谷中学校</p>			<p>左：カウンターの下には、図書委員が書いた本の紹介を掲示。 右：新着図書コーナー。本を面だしして、興味を引くような工夫も。</p>
<p>第八小学校</p>			<p>左：図書ラベルを分かりやすく説明。ラベルを見ながら、自分で本を探し、もどすことができるでしょう。 右：図書館の蔵書比率を円グラフにして表示。(図書委員会作成)</p>
<p>松木小学校</p>			<p>左：日本十進分類法、図書館マップ、本の並べ方の表示も見やすく掲示。 右：図書委員手作りのしおり。1年生のリクエストに応じて、かわいいイラストを添えて。</p>



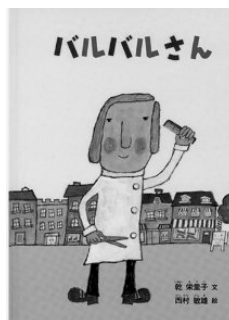
本が好き！ このコーナーでは本の紹介をしていきます。今回は、先日の読書指導員研修会で講師の先生より紹介があった本の中から四冊です。みなさん、ぜひ読んでみてくださいね。

表紙の利用
は出版社の
許諾済です



**「ガンバレ!!まけるな!!
ナメクジくん」**

作・絵:三輪 一雄 偕成社
ナメクジとカタツムリ、なにがちがうかな?三輪さんの絵本には他に「のんびりオウムガイとせっかちアンモナイト」「イボイボガエルヒキガエル」など楽しい科学絵本があります。似てるけど違うものを探してみませんか。(低学年~)



「バルバルさん」

文:乾栄里子 絵:西村敏雄
福音館書店
まちははずれ、青い屋根のちいさなとこやさん。きょうはいつもと違う動物のおきやくさんがつぎつぎと・・・
ページをめくるたびに、次の展開を想像させる絵本です。デザイン性あふれる絵も魅力的です。(低学年~)



「アリからみると」

文:桑原 隆一文 写真:栗林 慧
福音館書店
(かがくのとも傑作集 どきどきしぜん)
「虫の目レンズ」を通してみたアリたちの世界。写真家栗林さんと一緒に昆虫たちの世界へ出発しよう。(低学年~)



「コルチャック先生 子どもの権利条約の父」

文:トメク・ボガツキ
翻訳:柳田 邦男 講談社
国連で制定された「子どもの権利条約」の父ヤヌシュ・コルチャックの生涯をつづった伝記絵本。子どもから大人まで、読みこたえのある一冊です。(高学年~)



図書館へGO! 《オリエンテーション》

ワークシートには次のような問題が並んでいます。

ハリセンボンの『ハリ』は何が変化したものが。
また、これは図書館のどの本の何ページに載っているか。
請求記号と書名を書きなさい。



松木中学校 一年生
オリエンテーション風景

生徒たちは個々にあるいはグループで自由に書架をめぐり、めあての本を見つけては答えを書き込んでいきます。松木中学校1年生の国語「図書館オリエンテーション」の授業風景です(堀脇先生担当)。教科書の「本と出会う【図書館・読書】」という単元に基いた指導なのですが、こうした図書館活用についての実践的な取組は、生徒たちのこれからの学習や生活に大いに役立つことが期待されます。

学校図書館の活用指導は、中学校では第1学年の早い時期に扱われますが、小学校の場合は第2学年のやはり早い時期に「図書館へ行こう」という単元がでてきます。このことは教科書の編集意図を聞くまでもなく、小学校でも中学校でも図書館活用教育が重要な位置を占めていることを物語っていると思います。

図書館は学校の知の宝庫ですが、子どもたちがそこに分け入り、宝を手に入れる術を伝授するのがオリエンテーションなのです。

平成24年度第1号
7月5日発行
(通巻9号)

八王子市教育センター 学校図書館担当

連絡先 電話 042-664-1135 / FAX 042-662-2988

住所 八王子市散田町 2-37-1

教育センター アドレス: b300700@city.hachioji.tokyo.jp